

全てのプレイヤーが
成長できる
ウェッジ
“道具”であるために。

THE ALL NEW.

RM4



これまでの全ての技術を尊敬し、
これまでにない“新しさ”で
全てをリードする。



RM4
PRODUCT
EPISODE

1
開発

新技術「ステップブレード」



バックフェース面の左右方向に段差をつけた新技術ステップブレード設計。フルショットで活用するローロフト（46～54度）はトゥよりにポリウムを持たせてヘッド挙動の安定性を、小さな振幅で様々なテクニックを活用するハイロフト（56～60度）はヒールよりにポリウムを持たせて操作性を際立たせている。



株式会社フォーティーン
開発部 課長
鈴木浩之

今から約20年前、「MT-28」で圧倒的なスピン性能を実現し、当時日本ツアーで使用率1位を獲得したことを皮切りに、フォーティーンのウェッジは確固たる信頼を得た。今に至るまでその時代・時代で、新たな機能をカタチにし、他メーカーのウェッジがフォーティーンを追いかけるように技術を模範してきたのも事実、先進的な開発力こそがフォーティーンの実力そのものと製品力で象徴した。そして新作「RM-4」には、これまでに見たことのないバックフェースのトゥヒールにかけて肉厚を変化させた新『ステップブレード』が採用され、さらに1歩先のウェッジの世界観に辿り着いた。日本だけでなく世界でも通用するウェッジにしたい、という開発担当・鈴木の譲れない想いがあったからに他ならない。

フォーティーンには他に負けないウェッジづくりの技術があります。革新的技術を過去のプロダクトで次々に実現してきた。しかし10年以上のPGAツアーのサポートを通じて、“日本のフィールド”重視で考えられたパフォーマンスでは通用しにくい、と評価されたことがあるのも事実です。“ウェッジのフォーティーン”という日本で築いた価値観をさらに押し上げるためにも、アメリカもテストフィールドの一つとして加える必要がありました。PGAツアーだけでなく、競技系カレッジゴルファーにも積極的に協力をもらい、多くのテストを重ねました。「RM-4」はこれまでの開発を通して得た技術を尊敬し、これまでにない“新しさ”を生み出すことができました（開発部・鈴木）

鈴木が率先して取り組んだのはウェッジのパフォーマンスのキモであるソールに、ポリウムを盛り込むことだ。ポリウムを盛り込むことの恩恵は、様々なソールの曲面をより効果的に表現でき、芝の状況を選ばずに抜けの良さを機能化できることである。ただウェッジのヘッド重量を適正に設計していく上で、ソールのポリウムをアップするためには余剰重量を獲得する必



Sソール

全体的にポリウムを持たせて、緩やかな稜線でラウンドさせたソール。ソールのセンター寄りにラウンドの頂点があるため、ソール面の全てが機能しやすく、あらゆるライでボールが拾いやすい「RM-4」のスタンダードソールだ。

Hソール

ソール面全体をトゥヒール方向にややラウンドを持たせながら、後方を三日月型で大胆にカット。フェースの開閉に順応し、あらゆるテクニックに最適なバウンス効果をもたらす。

要があった。バックフェース中央部に帯状に精密機械加工を施し、異例ともいえる最薄化にトライ。そこで生まれた余剰重量を使い、従来の上下方向に肉厚変化を付けた逆テーパブレード設計に加え、トゥヒール方向にも肉厚の変化をつけた新『ステップブレード』設計を実現した。

昨今は多種多様のソールがラインナップされる時代ですが、「RM-4」はあえて使い勝手をわかりやすく表現することにこだわり、さらに手にとっていただけるゴルフファンの皆様に迷わせることなく「S」、「H」の2タイプから最適なソールを確実に選んでもらえる、わかりやすさにこだわりました。

またトゥヒール方向にポリウムを変化させたバックフェースの新『ステップブレード』によって、ローロフト、ハイロフトとフェース面でトゥヒールに動く打球意識に対応し、打ち応えやフィーリングをより洗練させることができました。常々、スピン性能にも定評があるフォーティーンのウェッジですが、ただハイスピンを追求するのではなく、番手毎で求められるスピン性能を機能化させることも新『ステップブレード』と逆テーパブレードのコンビネーションで実現。打つべき距離をより成功させる精度を飛躍的に向上させることができました（開発部・鈴木）

一目でパフォーマンスを意識できるフォーティーン的设计 “逆テーパブレード”を覆す 新基準を生み出せ。



「RM-4」の初期デザイン。このウェッジの開発が始動した約1年半前当初からバックフェースの肉厚を効果的に変化させるデザイン構想が手島にはあった。

2007年よりフォーティーンのプロダクトのデザインを手がけてきた手島氏。ウェッジデザインとして、衝撃的だったのは10年前の“逆テーパブレード”だ。工業デザイナーとしてトップブレードの工夫にアイデアを持っていた手島氏は、機能的根拠を確認するべくフォーティーンに持ち寄る。当時、角溝規制に対応するべくトップブレードに厚みを持たせ、安定スピンの供給できる新たな機能を構想していた開発部と意見が一致して“逆テーパブレード”の原型が生み出されたのだ。

私が、創始者の竹林隆光さん*から学んだデザインのポリシーとして、“写真を見て一目で性能が伝わるように”というフォーティーンの美学がありました。“逆テーパブレード”は、トップブレードの厚みが上下打点のブレへの強さを象徴的にできた。他メーカーがこのデザインを模範するほど、ウ

ェッジの機能の象徴となれたことは、フォーティーンに既存にこだわらず新たなものをカタチにする優れた開発力の賜物であることは間違いありません(手島)

様々な開発担当者やタッグを組んでフォーティーンにクラブデザインを施してきた手島氏。担当者それぞれの思考は変われど、企業のポリシーとして竹林イズムを受け継がれ根本は変わらないことを強調する。それを証明するかのように、既存のさらに上をいく説得力で生み出されたのが新『ステップブレード』が搭載された「RM-4」だ。

「RM-4」を構想する際にテーマとしたのが、“逆テーパブレード”を進化させること。それを発想したフォーティーン、そしてそれを愛用してきたユーザー、両者のデザインへの慣れや飽きを払拭することを絶対テーマとしました。機能的根拠に基づき、

バックフェース部のCNCミルドは、今では多くのウェッジが採用する。同じく余剰重量を獲得するために「RM-4」も採用するが、フォーティーンが違うのは一工夫を加えること。あえて斜めとすることで、どの角度から見てもハイライトが映え、美しさが際立つ。



フォーティーンゴルフクラブ専属デザイナー
手島 彰
Teshima Design Studio

SUBARU・初代IMPREZAのデザインを手がけ、PLUSにて家具のデザイン・企画開発を経て、テナメデザインスタジオを設立。自動車関連、アイウェア、生活用品、医療機器など工業デザインを軸にブランディングまで、デザインの対象は多岐にわたる。



さらにトゥヒール方向に厚みの変化をつけた新『ステップブレード』をコンビネーションさせるデザインに至ったというわけです。また中央くぼみ部、一番肉厚が薄い部分には、CNC加工を施していますが、既にその手法は他メーカーでも採用されていてユーザーの皆様には既視感が付きまってしまう。フォーティーンらしい一工夫として、ハイライトが映える美しさを求めて、斜めにデザインすることにこだわりました。製造技術的にとっても難易度の高い手法ですが、製造工場に無理を言っても妥協なく実

現化させしめるのが、フォーティーンというメーカーなのです(手島)

見た目に機能感が表現され、そしてシンプルにフォーティーンらしい洗練さまで兼ね備えている「RM-4」。カーデザインやアイウェアなど、多様なジャンルの工業デザインで機能感と素材感の表現とフォルムの美しさを手がけてきた手島氏のデザイン技術と、フォーティーンへの貪欲に機能追求と新しさを表現する世界観が見事に融合しているのだ。

*竹林隆光/たけはやしたかみつ、1981年にフォーティーンを設立。クラブ重心の概念や中空アイアの原型を世に生み出したクラブデザイナー。2013年没。

RM-4のパフォーマンス アメリカで磨かれた

「RM-4」は長年に渡りサポートしてきたPGAツアーという最先端の舞台において、実戦性を追求して開発されました。一人のツアープレイヤーの意見を踏襲、さらに基本的なパフォーマンス構築のテストプレイヤーとなったのは競技系カレッジゴルファーたちであり、必要とされる二つの機能を実現することができました。

一つはロフト角毎に必要なショット用途に応ずること。新「ステップブレード」(トゥヒールの肉厚変化)は、必要とされるスピン量までコントロールできる画期的

な新形状です。二つめはウェッジの機能の命と言われるソール。アメリカ、日本の芝質、そして幅広いプレイヤーが使いやすさを感じていただける万能性の「S」、操作性の「H」の2つのソールに辿り着くことができました。

“ウェッジのフォーティーン”として、これまで技術を磨いてきた日本というフィールドだけでなく、世界が欲する最先端のニーズも機能に+αの力として盛り込み、全てのプレイヤーの成長をサポートできるウェッジが「RM-4」なのです。

THE ALL NEW RM Wedge!

RM4

- ヘッド：軟鉄(S25C)鍛造
(鏡面ミールリングフェース&ミールリングバック)
- 仕上げ：ニッケルクロムメッキ・サテン仕上げ
- シャフト：N.S.PRO TS-114w スチールシャフト (WEDGE/125g)
N.S.PRO TS-101w スチールシャフト (WEDGE/111g)
- 価格： ¥26,400 (税込)



モデル		46	48	50	52	54	56S	56H	58S	58H	60S	60H
ロフト角(°)		46	48	50	52	54	56	56	58	58	60	60
ライ角(°)		63	63	63.5	63.5	63.5	64	64	64	64	64	64
バンス角(°)		7	7	8	8	11	11	10	14	12	14	11
ソール形状		—	—	—	—	—	S	H	S	H	S	H
クラブ長さ (inch)		35.5	35.5	35.25	35.25	35.25	35	35	35	35	35	35
N.S.PRO TS-114w	クラブ重さ(g)	459	459	465	465	465	470	470	470	470	470	470
	バランス	D2	D2	D2.5	D2.5	D2.5	D3	D3	D3	D3	D3	D3
N.S.PRO TS-101w	クラブ重さ(g)	446	446	451	451	451	458	458	458	458	458	458
	バランス	D1.5	D1.5	D2	D2	D2	D2.5	D2.5	D2.5	D2.5	D2.5	D2.5

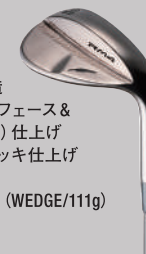
※MADE IN JAPAN

精悍さ際立つブラックエディション

TS-101w シャフト装着モデルにはヘッド、シャフト、ソケット全てのパーツをブラックで統一した特別なブラックエディションをラインアップ。精密なアプローチショットを演出します。

BLACK Edition

- ヘッド：軟鉄(S25C)鍛造
(鏡面ミールリングフェース&ミールリングバック)仕上げ
：ライトブラックメッキ仕上げ
- シャフト：N.S.PRO TS-101w
スチールシャフト (WEDGE/111g)
BLACK Edition
- 価格： ¥28,600 (税込)



「ちょうど良い」を狙ったミドル級重量帯の TS-101w

ウェッジ専用、ミドル級重量スチール『TS-101w』シャフトが登場。「クラブとしての使いやすさ」を求めて日本シャフト株式会社と共同で開発した番手別ウェッジ専用スチールシャフトに、待望のミドル重量帯バージョンが追加されました。重すぎず軽すぎず、110g 台の適度な重量感で、より細かくプレイヤーの期待に応えます。



左用モデル RM-Left

左用モデルとしてロフト角48°、50°、52°、56°、58°をラインアップしています。

ONLINE STORE LIMITED

CUSTOM RM-4では新たにTソールが限定登場

※5月下旬～6月販売開始予定

トゥからヒールにかけて三日月に削られた操作性の「H」ソールを、さらにローバンス仕様となった「T」ソールが、オンラインストア限定のカスタムRM-4で登場しました。



カスタムオーダーの流れ

- ▶ご希望のソール、ロフト角を選択
- ▶ご希望のイニシャル刻印、カラー、その他オプションを選択
- ▶ご希望のシャフト、長さ、バランスなどを指定
- ▶ロフト角とライ角を調整
- ▶グリップを選択
- ▶完成

フォーティーン
オンラインストア

